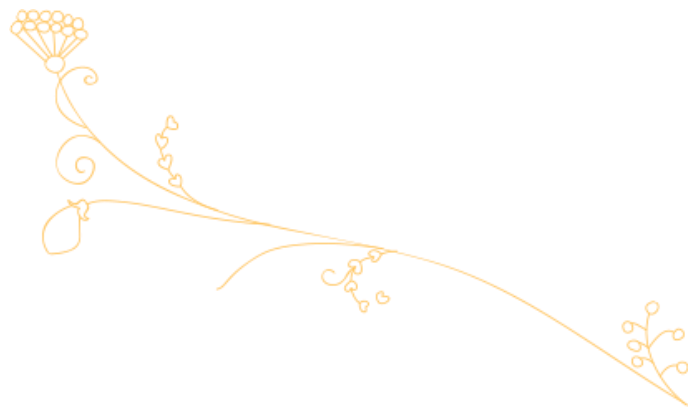




平成29年12月期 決算説明資料

平成30年2月
株式会社セレス（東証第一部：3696）



1. 平成29年12月期 決算概要
2. 事業の概況
3. 平成30年12月期 業績予想
4. APPENDIX

インターネットマーケティングを通じて豊かな世界を実現する

モバイルサービス事業

成功報酬型スマートフォンメディアとして、「モッピー」・「モバトク」・「お財布.com」のポイントメディアの運営を行うとともに、アルバイト求人サイト「モッピージョブ」やコミックサイト「コミプラ」等複数のコンテンツメディアを展開しています。



モッピー



お財布.com



モッピージョブ

フィナンシャルサービス事業

フィナンシャルサービスとして仮想通貨関連事業・スマートフォン決済事業・投資育成事業を展開しております。仮想通貨関連では子会社マーキュリーにて仮想通貨取引所開設に向けた準備を行うと共に、仮想通貨のマイニングを開始しております。スマートフォン決済では、ポイント決済が可能な「POINT WALLET VISA PREPAID」を発行しております。



仮想通貨取引所



仮想通貨マイニング



1. 平成29年12月期 決算概要

平成29年12月期 決算概要

売上高	5,400百万円	(前年同期比 44.9% 増)
営業利益	955百万円	(前年同期比 71.5% 増)
経常利益	960百万円	(前年同期比 92.9% 増)
当期純利益	650百万円	(前年同期比 136.1% 増)

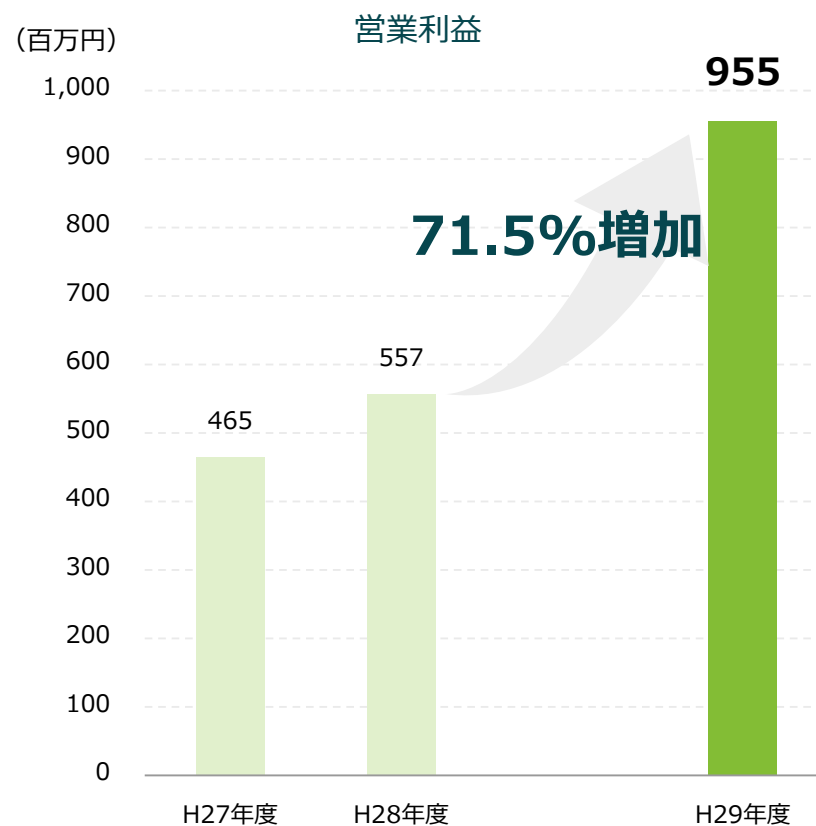
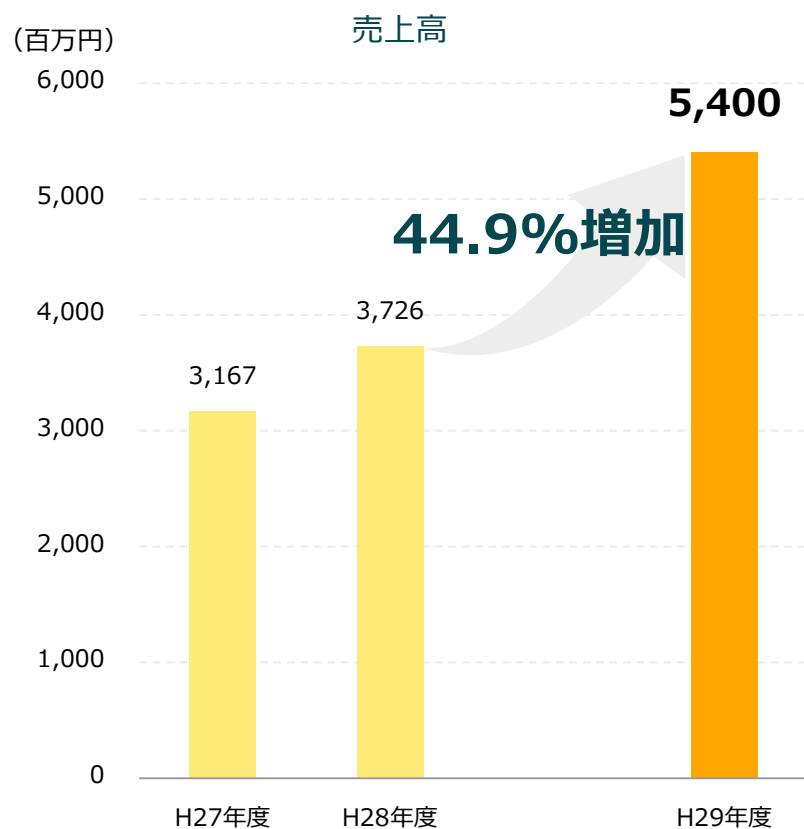
- アドネットワークのルール変更にもかかわらず、会員数増とEC流通額拡大によりポイントメディアが成長し過去最高売上高に
- 営業投資有価証券売却が大幅な増収・増益に貢献
- コンテンツメディアへの投資及び本社移転コストを吸収し最高益に
- 子会社マーキュリーを設立し仮想通貨取引事業とマイニング事業に参入

業績ハイライト

平成29年度売上高・営業利益ともに大幅に増加し過去最高に

★売上高は前年比44.9%増の5,400百万円

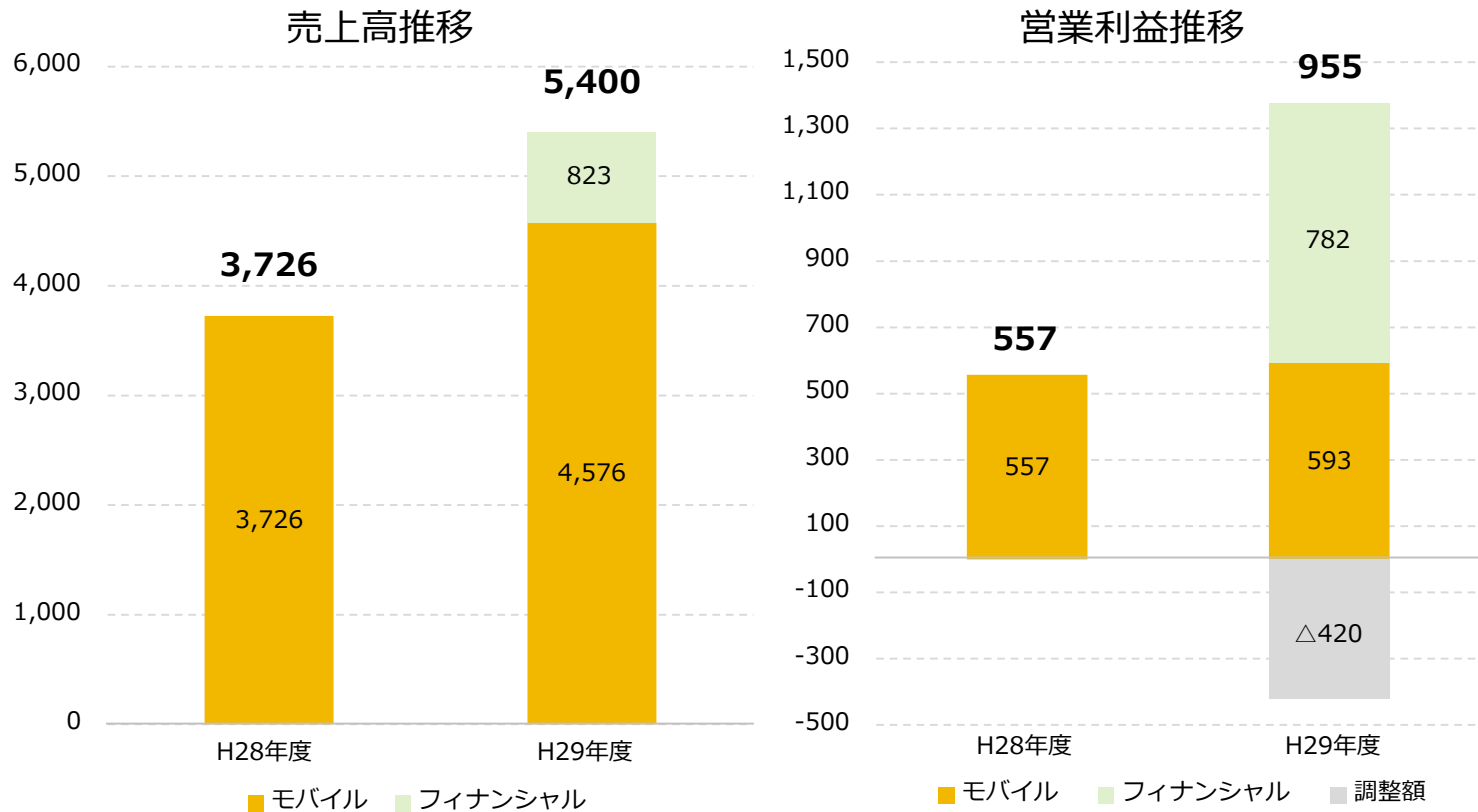
★営業利益は前年比71.5%増の955百万円



セグメント情報

★当第3四半期よりセグメント情報の開示を開始
 モバイルサービス事業が堅調に伸長、加えて投資育成事業が貢献

モバイルサービス事業	ポイントメディア、コンテンツメディアなど
フィナンシャルサービス事業	仮想通貨関連事業、スマートフォン決済事業、投資育成事業など



損益計算書の概要

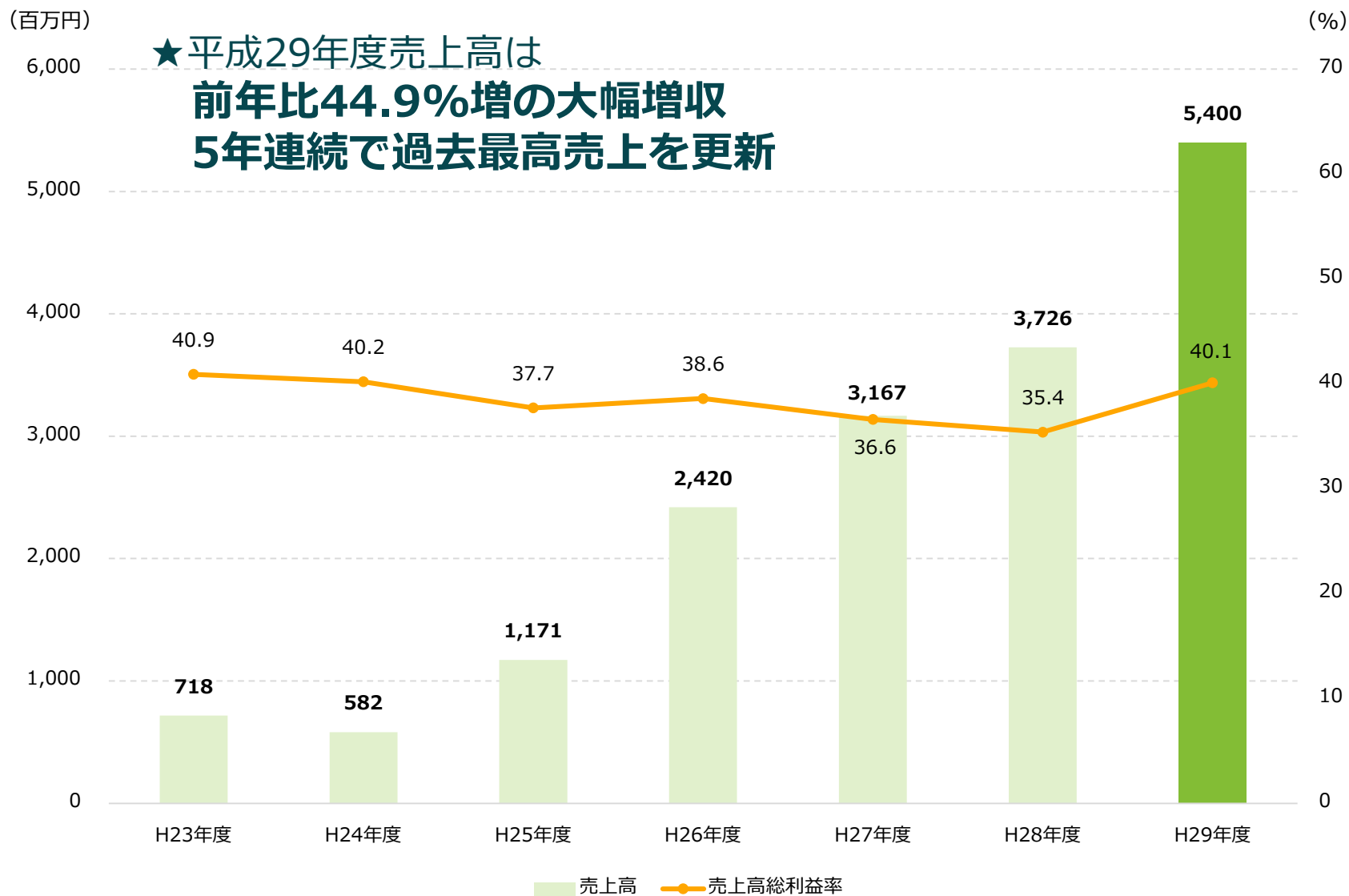
(単位：百万円)	平成29年12月期	平成28年12月期	前年同期比
売上高	5,400 (100.0%)	3,726 (100.0%)	+44.9%
売上総利益	2,167 (40.1%)	1,318 (35.4%)	+64.3%
販売費及び一般管理費	1,211 (22.4%)	761 (20.4%)	+59.1%
営業利益	955 (17.7%)	557 (15.0%)	+71.5%
経常利益	960 (17.8%)	497 (13.4%)	+92.9%
当期純利益	650 (12.0%)	275 (7.4%)	+136.1%
EBITDA	1,096 (20.3%)	645 (17.3%)	+69.8%

※ EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費

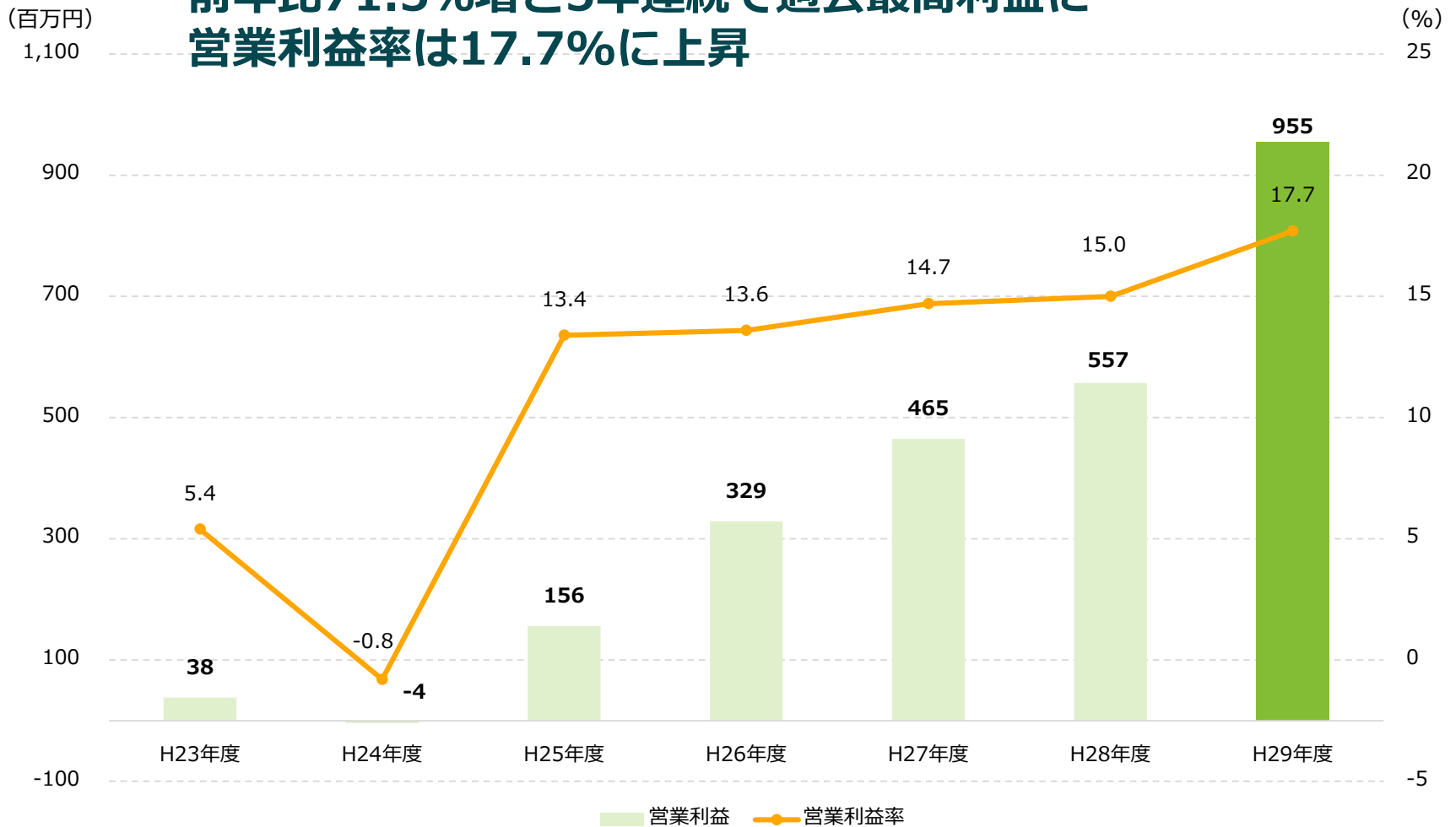
平成29年度業績は売上高・利益ともに期初予想を大幅に上回る
平成26年10月の東証マザーズ上場以来（現在東証1部）、
売上高・営業利益は4年連続で期初業績予想を超える

(単位：百万円)	平成29年12月期	期初業績予想 (H29/2/14発表)	達成率
売上高	5,400	4,200	128.6%
営業利益	955	600	159.2%
経常利益	960	596	160.9%
当期純利益	650	387	167.7%

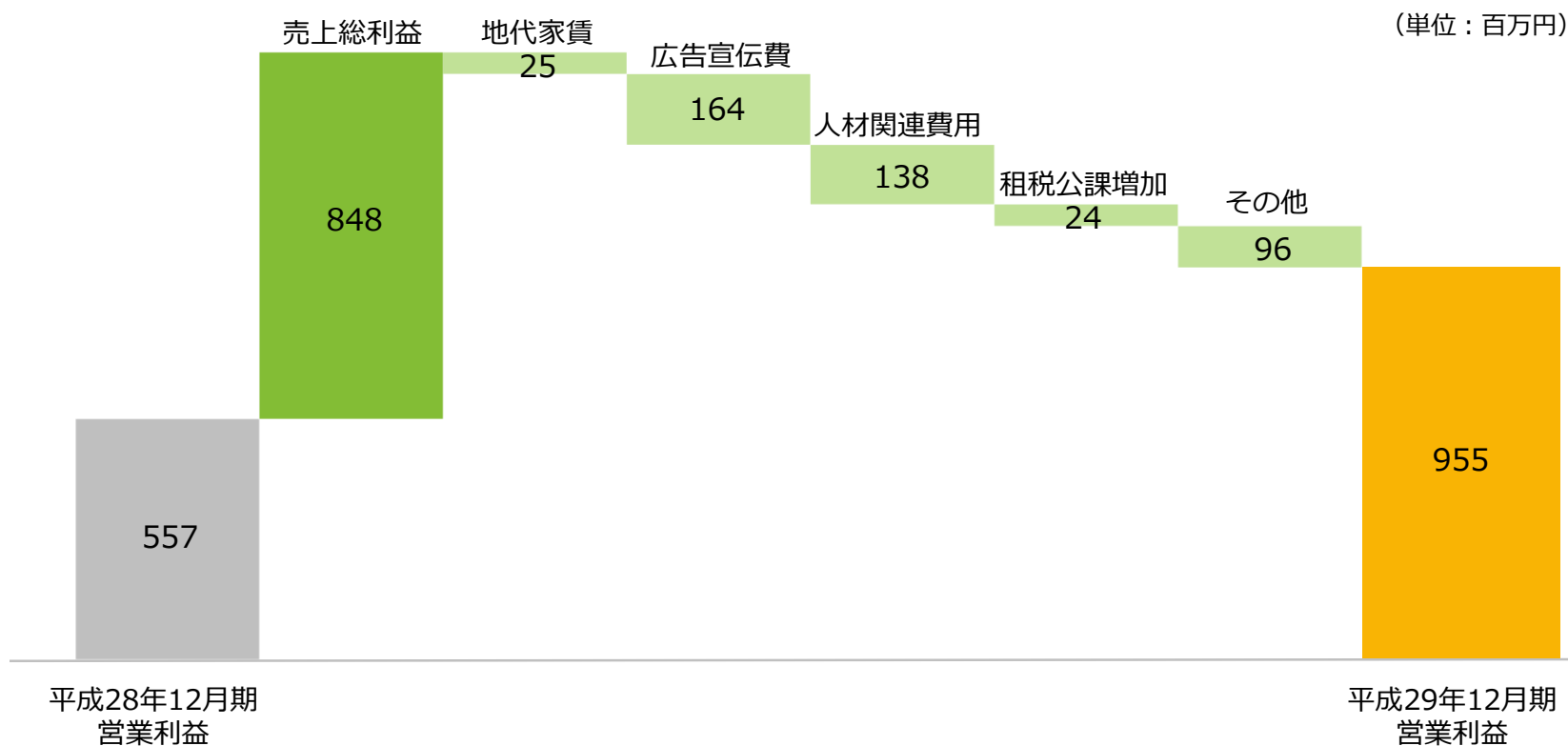
※ 平成29年度業績予想は、平成29年11月10日と平成30年1月26日に業績予想の修正を発表しております



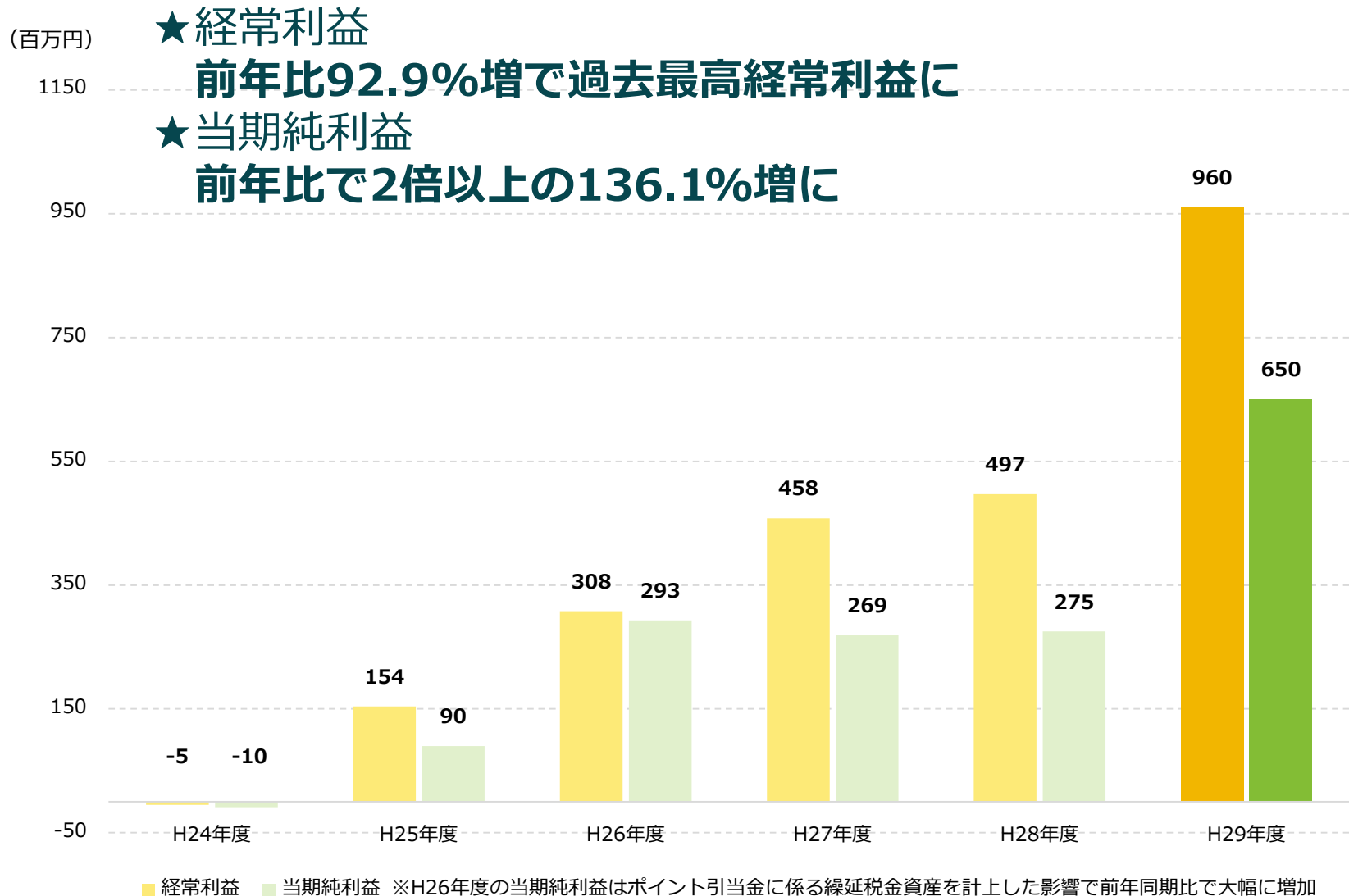
★平成29年度営業利益は
前年比71.5%増と5年連続で過去最高利益に
営業利益率は17.7%に上昇



- ★ ポイントメディアと営業投資有価証券売却により粗利大幅増
- ★ 積極的投資・本社移転コストによる販管費増加分を吸収



経常利益・当期純利益推移

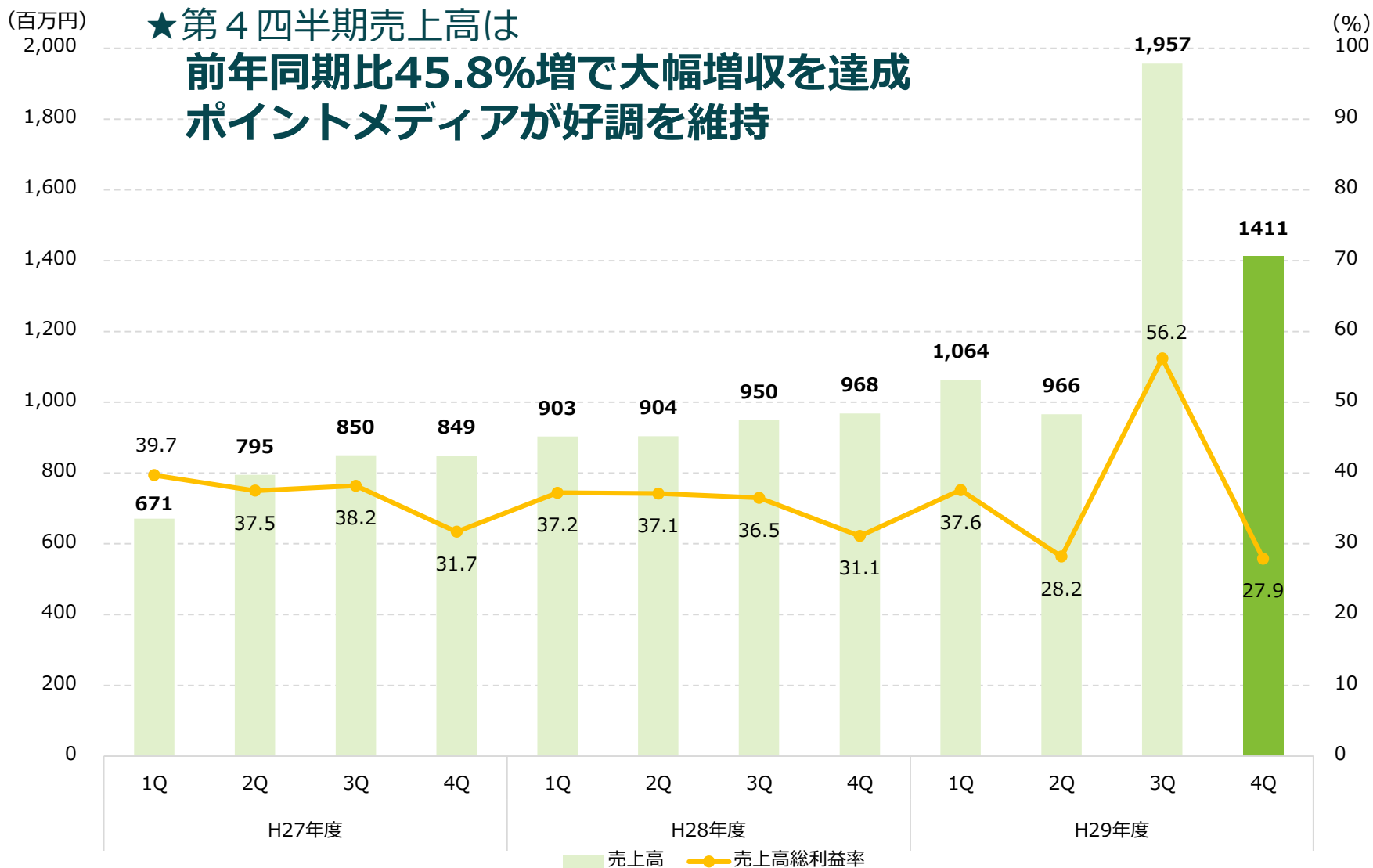


損益計算書の概要（第4四半期）

(単位：百万円)	平成29年12月期4Q (平成29年10-12月)	平成28年12月期4Q (平成28年10-12月)	前年同期比	平成29年12月期3Q (平成29年7-9月)	前四半期比
売上高	1,411 (100.0%)	968 (100.0%)	+45.8%	1,957 (100.0%)	-27.9%
売上総利益	394 (27.9%)	300 (31.1%)	+31.2%	1,100 (56.2%)	-64.2%
販売費及び 一般管理費	429 (30.4%)	209 (21.6%)	+104.9%	297 (15.2%)	+44.0%
営業利益	-34 (-%)	91 (9.4%)	—	802 (41.0%)	—
経常利益	-28 (-%)	45 (4.7%)	—	800 (40.9%)	—
四半期純利益	-19 (-%)	13 (1.4%)	—	548 (28.0%)	—
EBITDA	19 (1.4%)	114 (11.9%)	-83.4%	836 (42.7%)	-97.7%

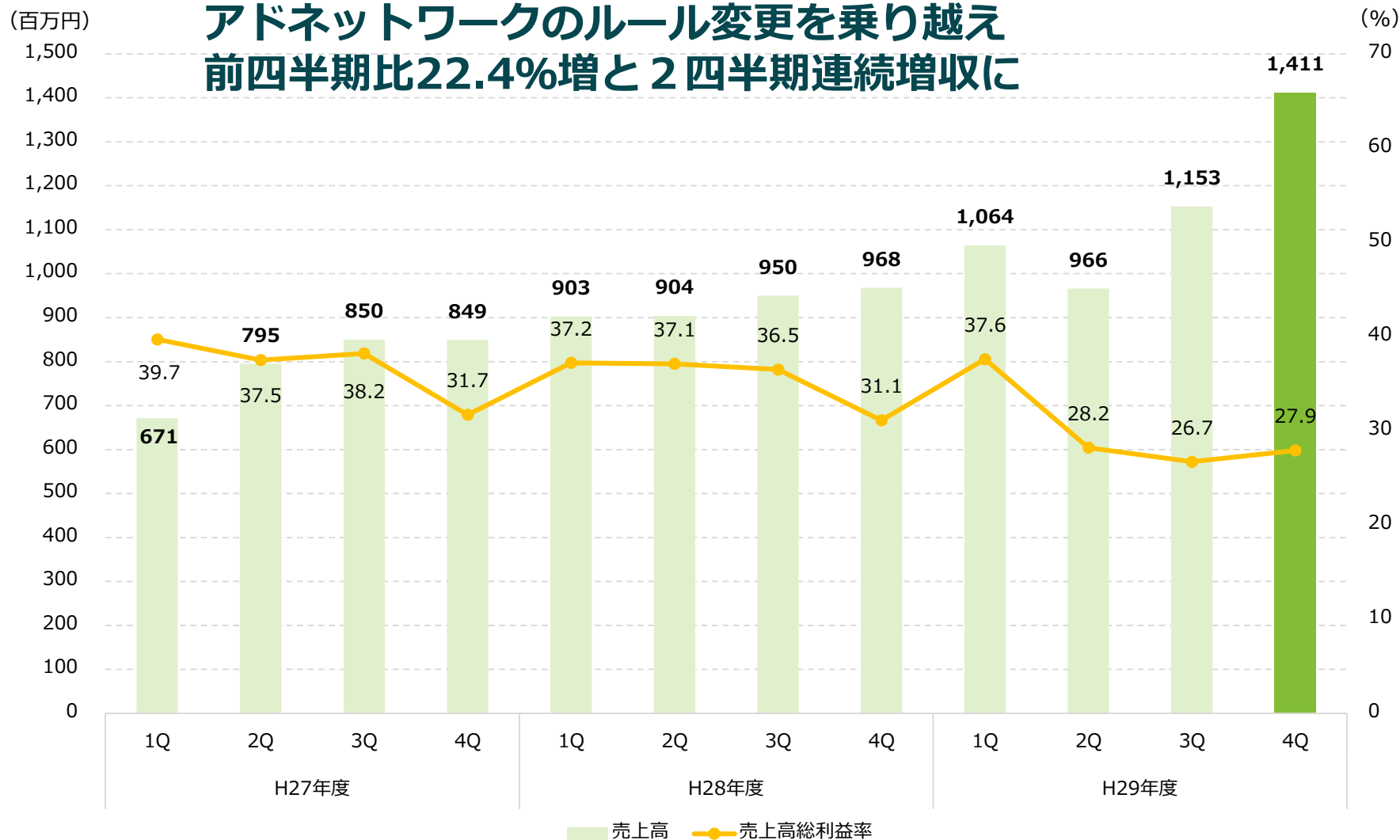
※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費

四半期売上高推移



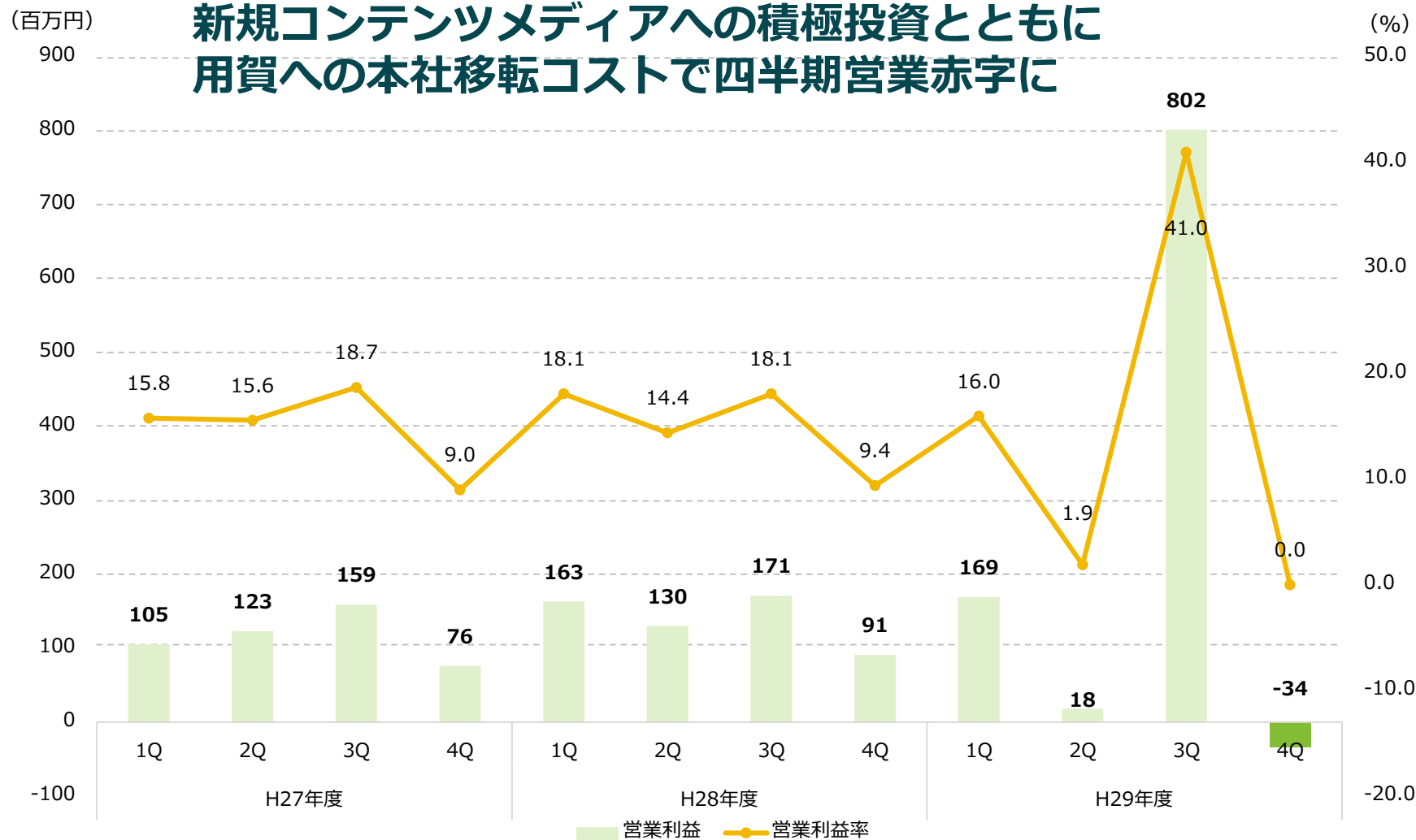
四半期売上高推移（有価証券売却分除く）

★第4四半期売上高（有価証券売却分除く）では
アドネットワークのルール変更を乗り越え
前四半期比22.4%増と2四半期連続増収に



四半期営業利益推移

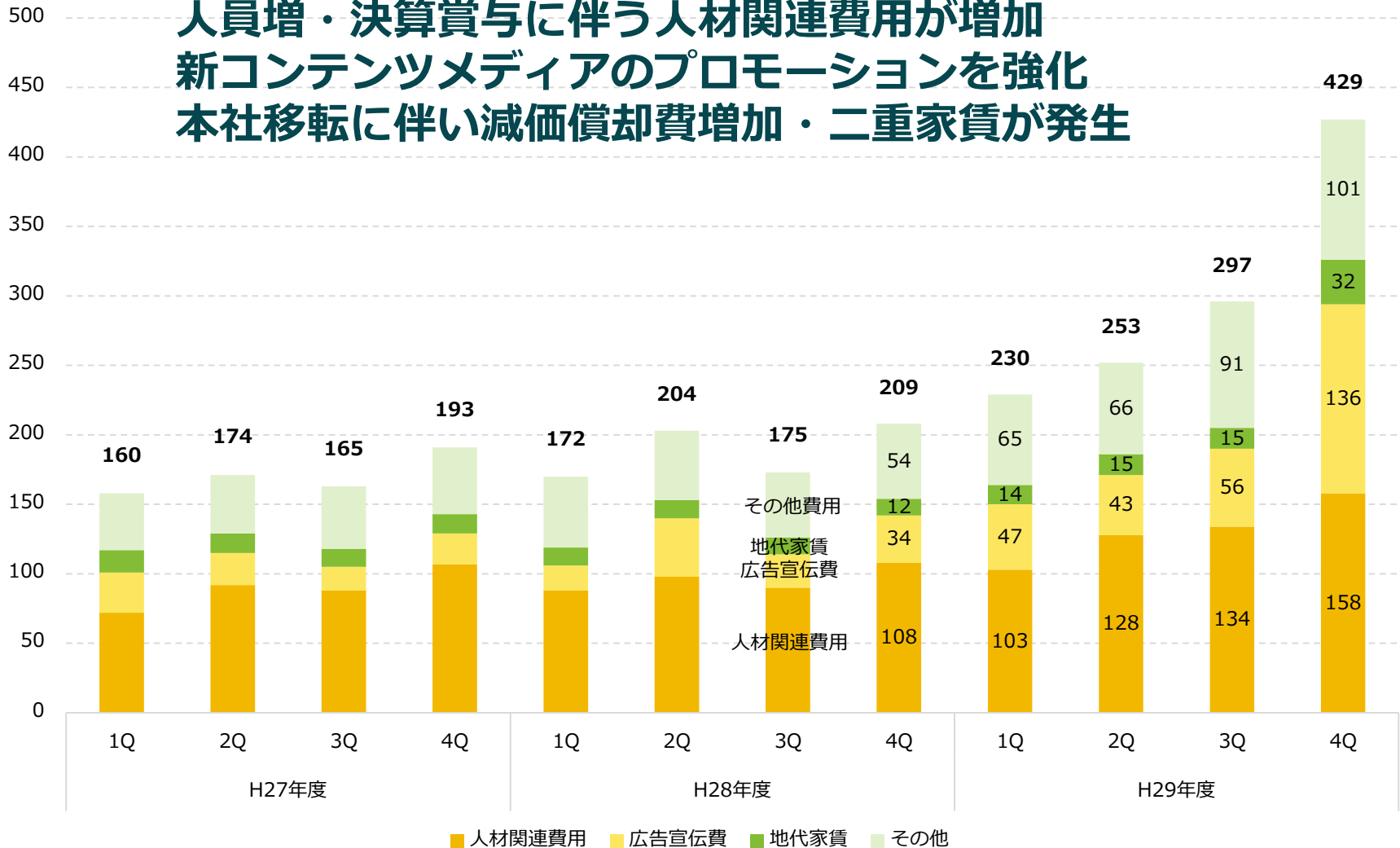
★第4四半期営業利益は
**新規コンテンツメディアへの積極投資とともに
 用賀への本社移転コストで四半期営業赤字に**

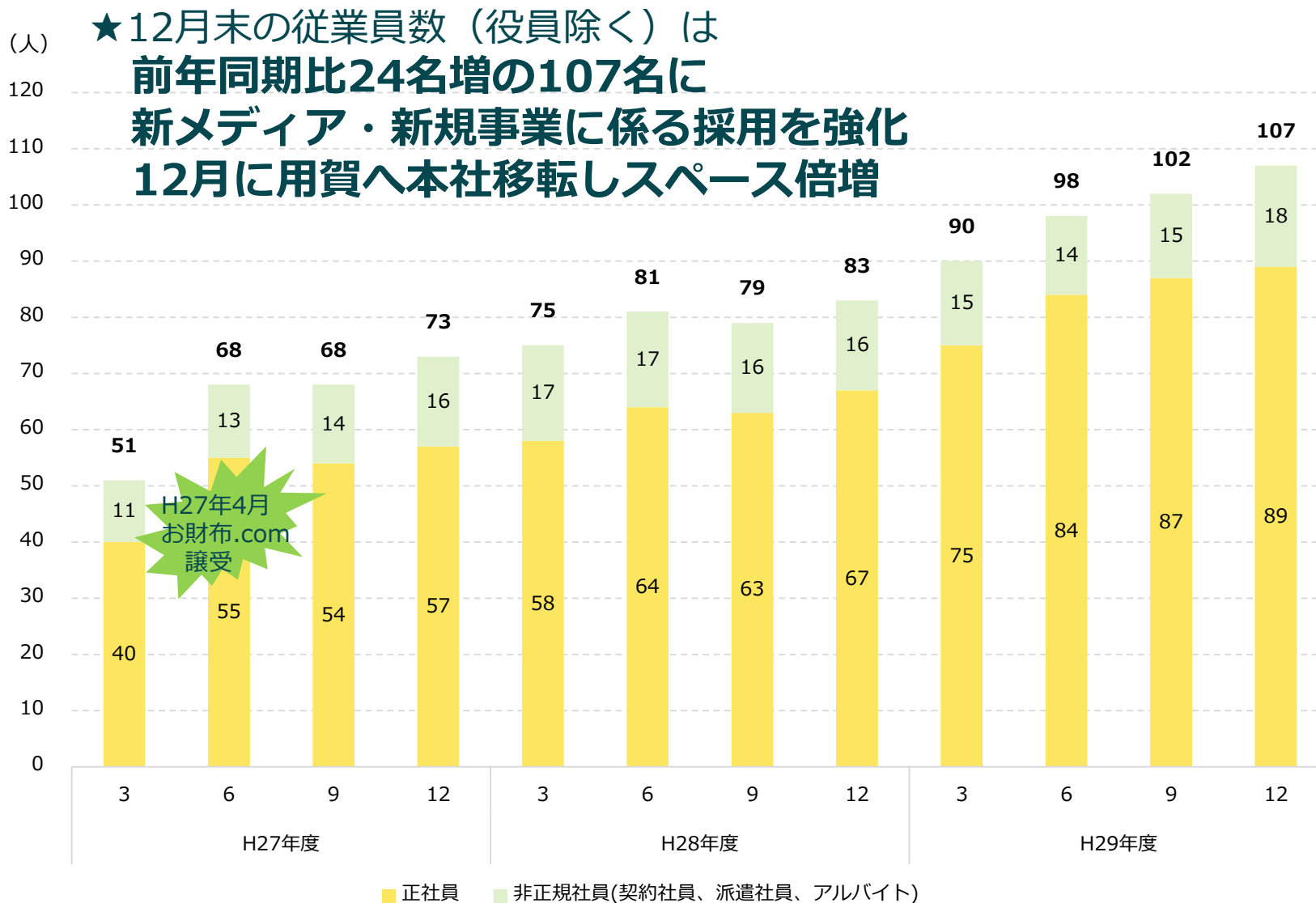


四半期販売費及び一般管理費推移

(百万円)

★第4四半期販管費は
人員増・決算賞与に伴う人材関連費用が増加
新コンテンツメディアのプロモーションを強化
本社移転に伴い減価償却費増加・二重家賃が発生





貸借対照表の概要

(単位：百万円)		平成29年12月期 期末	平成28年12月期 期末	前年増減額	主な要因
流動資産	5,673 (71.0%)	4,659 (79.9%)	+1,014	営業投資有価証券 +429 貯蔵品 +269	
固定資産	2,317 (29.0%)	1,174 (20.1%)	+1,143	関係会社株式 +946 投資有価証券 -228	
資産合計	7,991 (100.0%)	5,833 (100.0%)	+2,157		
流動負債	1,831 (22.9%)	1,157 (19.8%)	+674	ポイント引当金 +133 未払法人税 +178	
固定負債	575 (7.2%)	368 (6.3%)	+206	長期借入金 +170 資産除去債務 +49	
負債合計	2,407 (30.1%)	1,526 (26.2%)	+880		
純資産合計	5,583 (69.9%)	4,307 (73.8%)	+1,276	資本金 +369 繰越利益剰余金 +559	
負債・純資産合計	7,991 (100.0%)	5,833 (100.0%)	+2,157		

キャッシュフロー計算書の概要

(単位：百万円)	平成29年12月期	平成28年12月期	主な要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	469	370	税引前当期純利益 +953 売上債権の増加 -185 貯蔵品の増加 -269
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,448	△ 295	ビットバンクの株式取得 -850 引越に伴う敷金等の支出 -133 仮想通貨購入に係る支出 -206
財務活動によるキャッシュ・フロー	918	2,120	長期借入金 +268 サイバーエージェントへの株式割当 +729
現金及び現金同等物の期末残高	3,568	3,629	

業績ハイライト：1

	平成25年12月期	平成26年12月期	平成27年12月期	平成28年12月期	平成29年12月期
売上高（百万円）	1,171	2,420	3,167	3,726	5,400
売上高成長率	101.3%	106.6%	30.8%	17.7%	44.9%
営業利益（百万円）	156	329	465	557	955
売上高営業利益率	13.4%	13.6%	14.7%	15.0%	17.7%
営業利益成長率	黒字転換	109.7%	41.3%	19.7%	71.5%
経常利益（百万円）	154	308	458	497	960
当期純利益（百万円）	90	293	269	275	650
EBITDA（百万円）	364	542	553	645	1,096

※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費

業績ハイライト：2

	平成25年12月期	平成26年12月期	平成27年12月期	平成28年12月期	平成29年12月期
純資産（百万円）	240	1,629	1,907	4,307	5,583
ネットキャッシュ（百万円）	44	1,307	981	3,123	2,795
ROA（総資産経常利益率）	24.6%	18.5%	15.8%	10.9%	13.9%
ROE（自己資本純利益率）	46.1%	31.4%	15.2%	8.9%	13.2%
自己資本比率	28.2%	65.5%	57.2%	73.8%	69.8%
D/Eレシオ（負債資本倍率）	95.1%	17.7%	23.7%	11.7%	13.9%

〈基本方針〉

セレスは、企業価値の継続的な拡大と、株主への利益還元を重要な経営課題と認識しております。

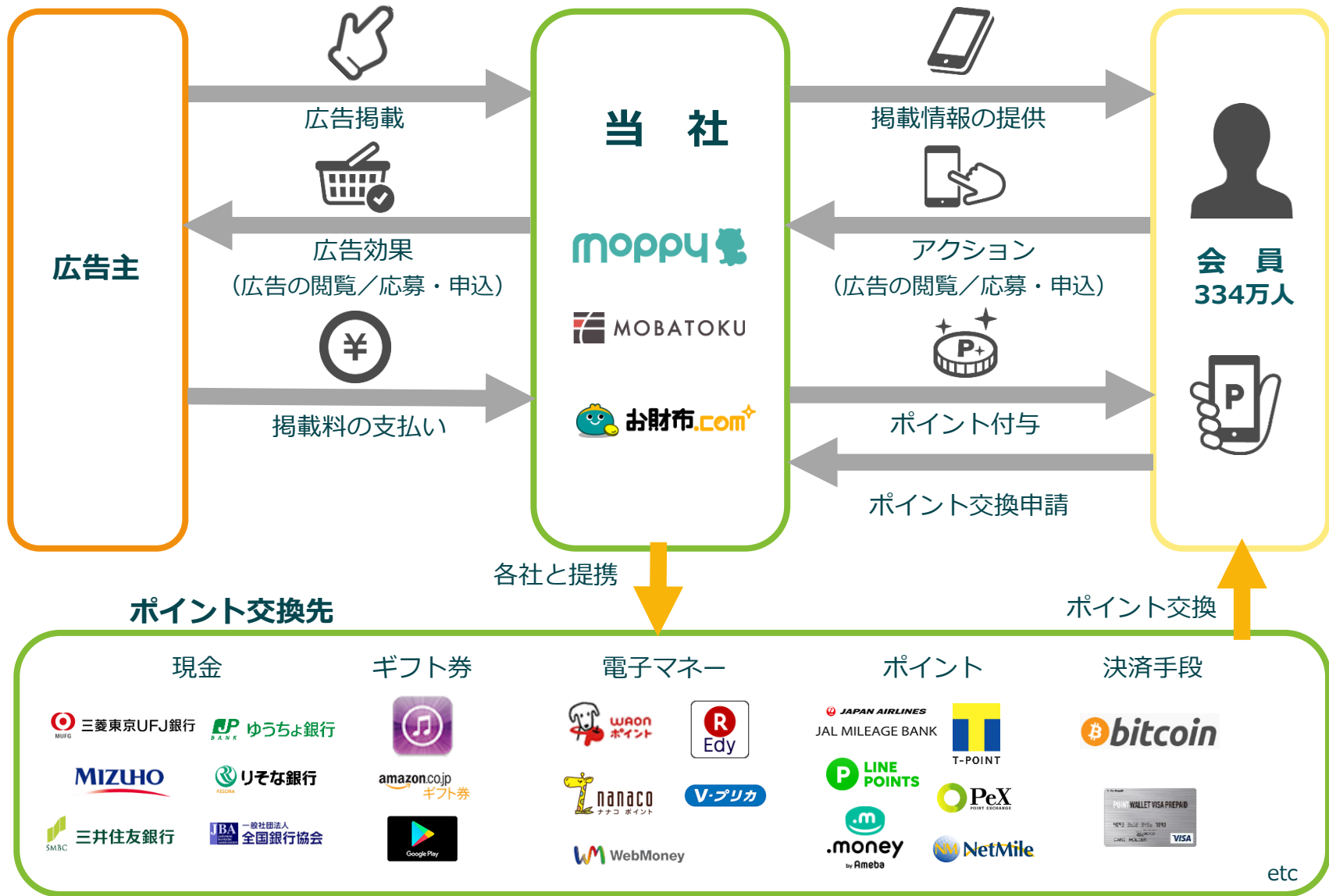
企業価値の継続的な拡大に資する積極的事業投資を可能とするため、健全な財務体質の維持、将来の事業拡大に備えるための内部留保とのバランスを図りながら、利益配当による株主還元を検討していく方針です。

	年間配当金	配当金総額	配当性向	純資産配当率
平成28年度	8.00円	82百万円	26.2%	2.5%
平成29年度	12.00円	130百万円	19.2%	2.6%



2. 事業の概況

ポイントメディアのビジネスモデル



広告掲載からポイントを貯めるイメージ



アプリで貯める

- アプリ課金
- ゲームアプリDL
- ニュースアプリDL
- ツールアプリDL

etc



課金で貯める

- 動画サイト
- 音楽サイト
- コミックサイト
- 占いサイト

etc



申込で貯める

- クレジットカード
- 証券・FX口座
- 資料請求
- 中古車・引越し比較

etc



コマースで貯める

- ECモール
- 通販系サイト
- 化粧品・健康食品通販
- 無料サンプル商材

etc



アクションで貯める

- アンケート回答
- クラウドソーシング
- リアル店舗での購入
- チラシ閲覧

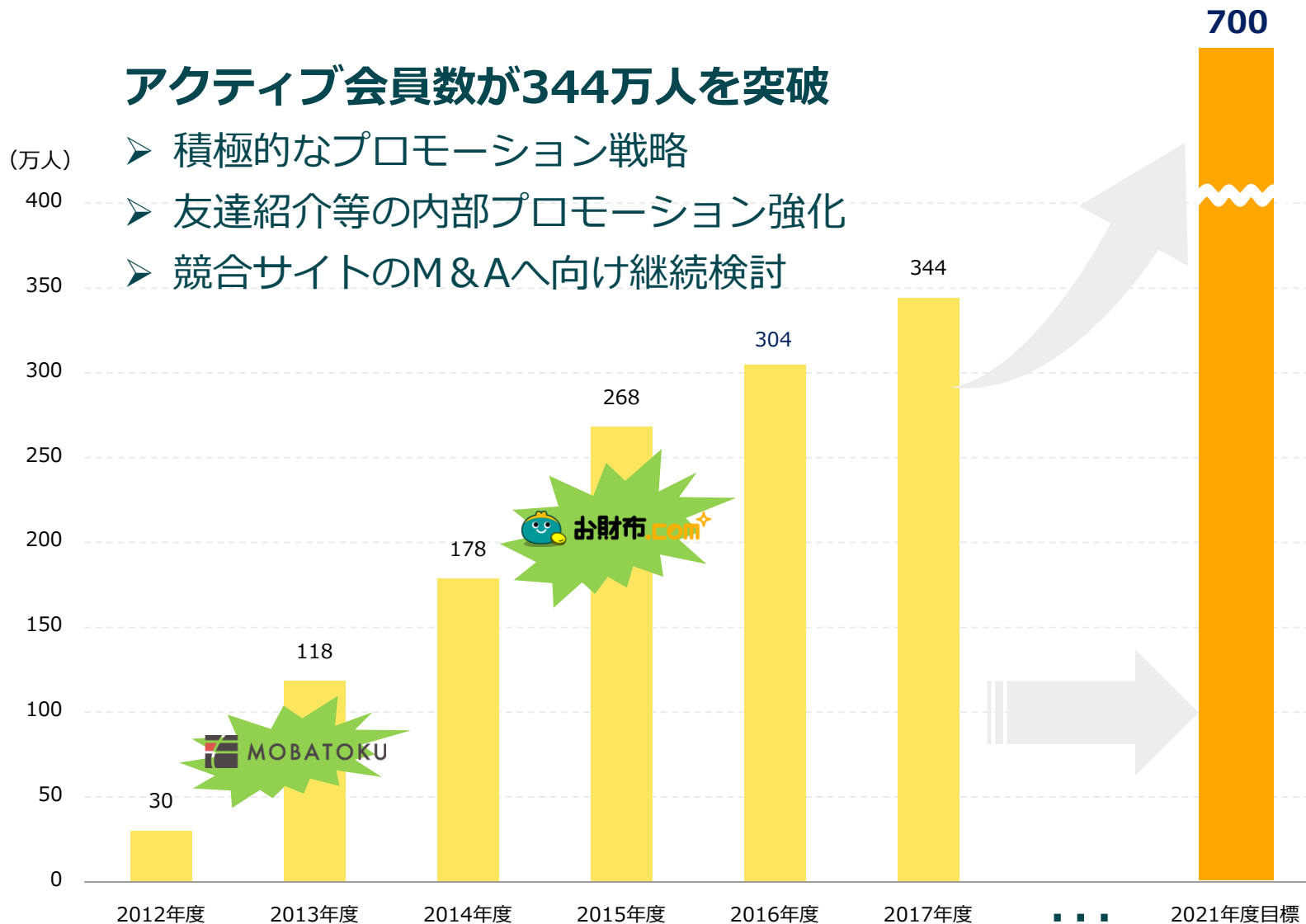
etc



※SP：スマートフォン PC：パソコン

アクティブ会員数が344万人を突破

- (万人)
- 積極的なプロモーション戦略
 - 友達紹介等の内部プロモーション強化
 - 競合サイトのM&Aへ向け継続検討

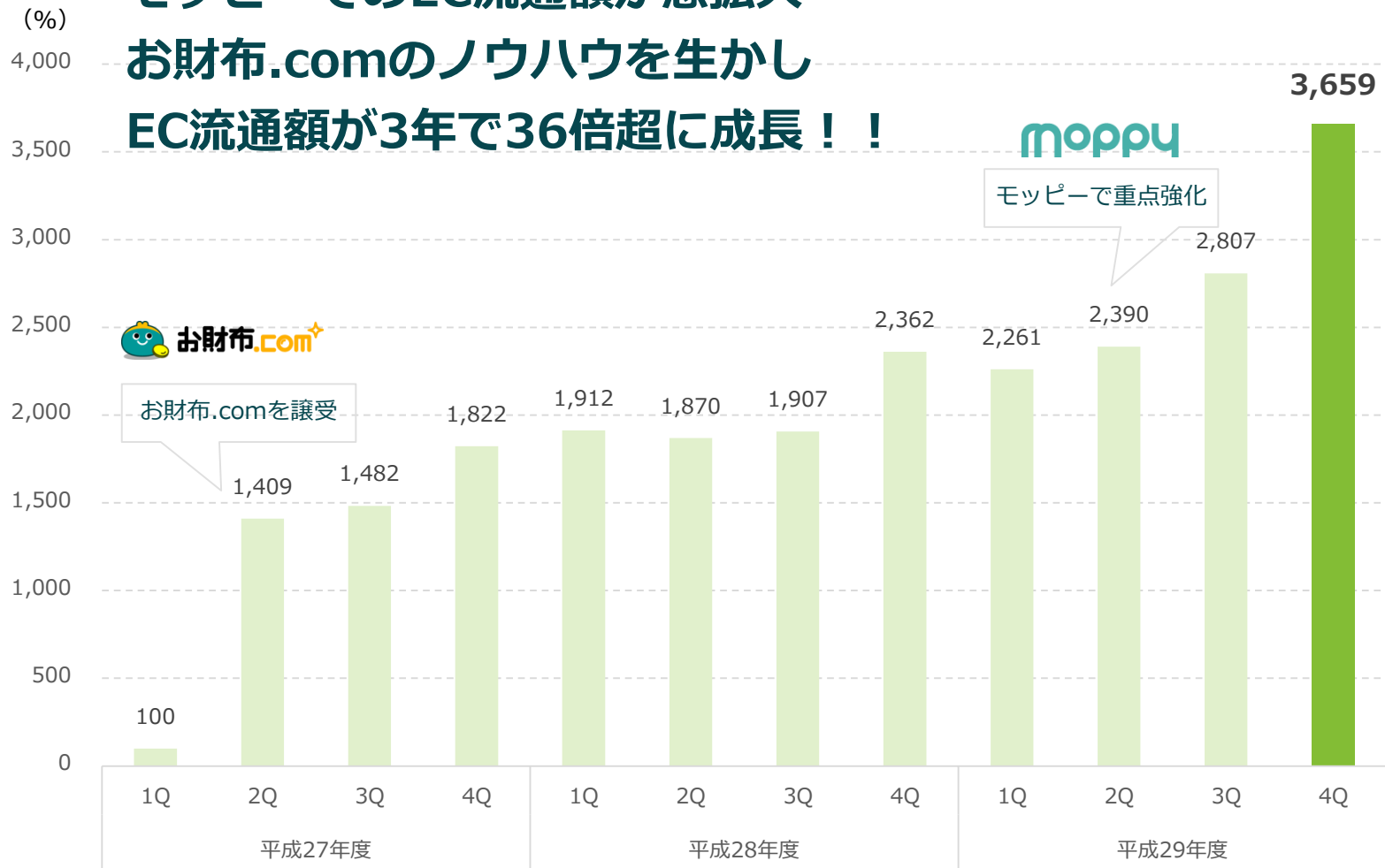


スマホEC市場の拡大と第2四半期からの重点強化により

モッピーでのEC流通額が急拡大

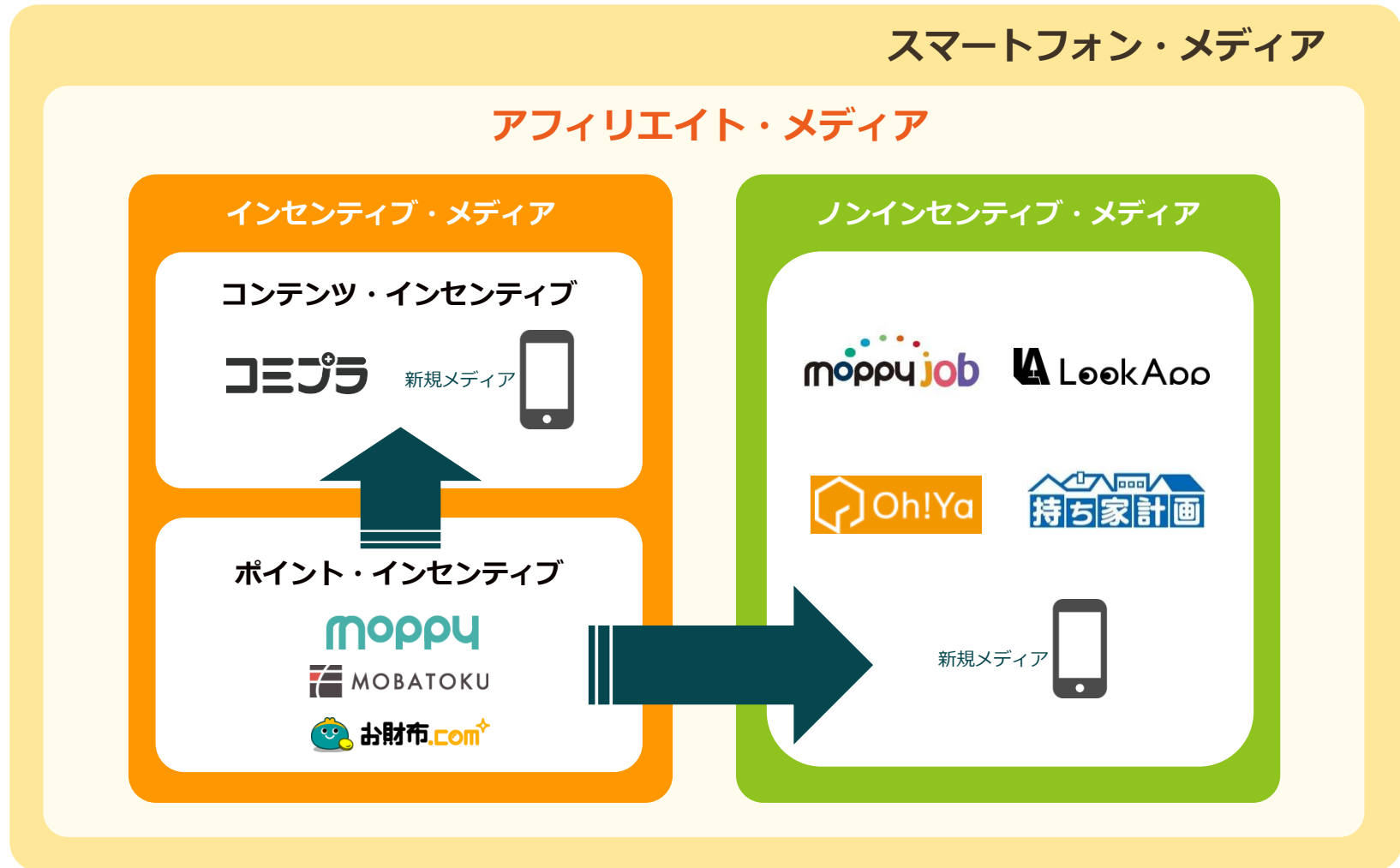
お財布.comのノウハウを生かし

EC流通額が3年で36倍超に成長！！

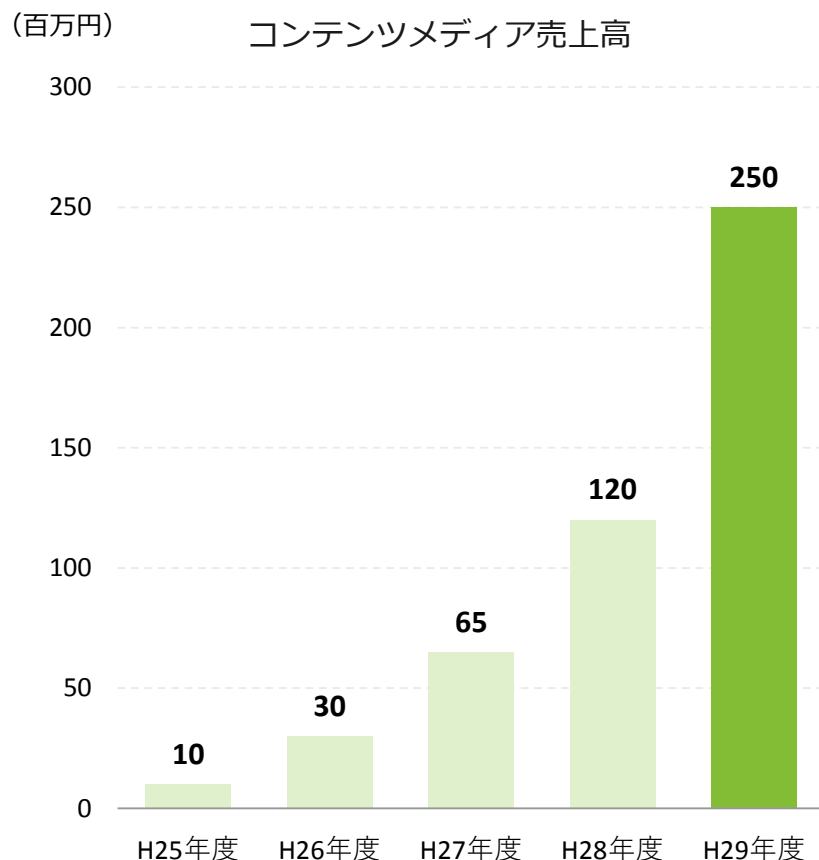


※平成27年度第1四半期を100%とした際の比較

➤ 成功報酬型のスマートフォンメディアに投資



「スマートフォン×成功報酬型モデル」の新規メディアに積極投資を行い モッピージョブに次ぐ新規メディアが立ち上がり売上高前年比2倍に



● アルバイト求人サイト「モッピージョブ」

広告主が無料で求人広告を掲載可能
採用されたユーザーはお祝い金が貰える
採用課金型のアルバイトサイト



● コミックサイト「コミプラ」

基本無料でコミック閲覧が可能な
プレミアムモデルのWebサイト向け
無料コミックサイト



©天医無縫・伊月慶悟、地引かずや/日本文芸社

● 不動産投資サイト「Oh!Ya」

投資マンションや不動産収益物件を
紹介する不動産投資比較サイト
※事業譲受で取得



O2O

Online to Offline

ヒトの移動



オムニチャンネル

価値の移動

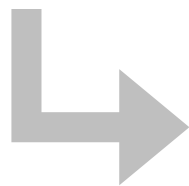


トークンエコノミー



トークン (Token) とは？

しるしや代用貨幣や商品引換券などと訳される



ポイント



仮想通貨



電子マネー



※仮想通貨業界では仮想通貨=トークンといった形でつかわれるが、ここでは広義に解釈。

グローバルで進む「非現金決済による経済活動」に継続して注力



マーキュリーが仮想通貨交換業者として金融庁に登録申請 CAビットコインがビットバンクのホワイトラベルブローカーに

今後、マーキュリーが仮想通貨交換業者として登録されるにあたり、利用者保護・分別管理・システム管理の社内体制及び内部管理体制の整備を行っていく方針。
グループ会社ビットバンクの「bitbank for broker」をサイバーエージェント子会社のCAビットコインが利用して仮想通貨交換事業へ参入。
本提携に伴い、サイバーエージェントとの資本提携を実施。



ビットバンクとともにホワイトラベルモデルを拡大

ビットバンクの仮想通貨管理体制

仮想通貨	保管方法
ビットコイン	コールドウォレット マルチシグ
ライトコイン	コールドウォレット マルチシグ
リップル	コールドウォレット 非マルチシグ
モナコイン	コールドウォレット マルチシグ
ビットコイン キャッシュ	コールドウォレット マルチシグ
イーサリアム	コールドウォレット 非マルチシグ

フィナンシャルサービスとして、仮想通貨関連事業と共に
投資育成事業として仮想通貨・ブロックチェーン分野に投資拡大

仮想通貨バリューチェーン

マイニング



(平成29年設立)



取引所



Mercury

(100%子会社)



(関連会社)



(平成27年出資)



(平成27年提携)

ウォレット



(平成28年出資)



(平成29年出資)

決済

送金



(平成28年開始)



(平成29年開始)

ブロックチェーン・アプリケーション



orb

(平成27年出資)



sivira

(平成29年出資)



(平成29年出資)

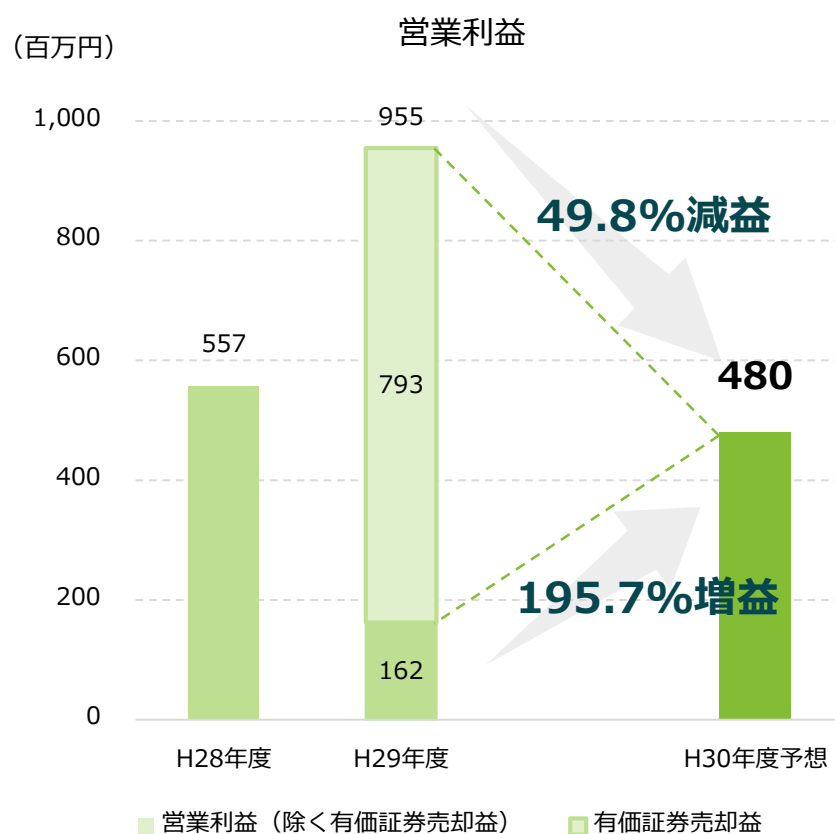
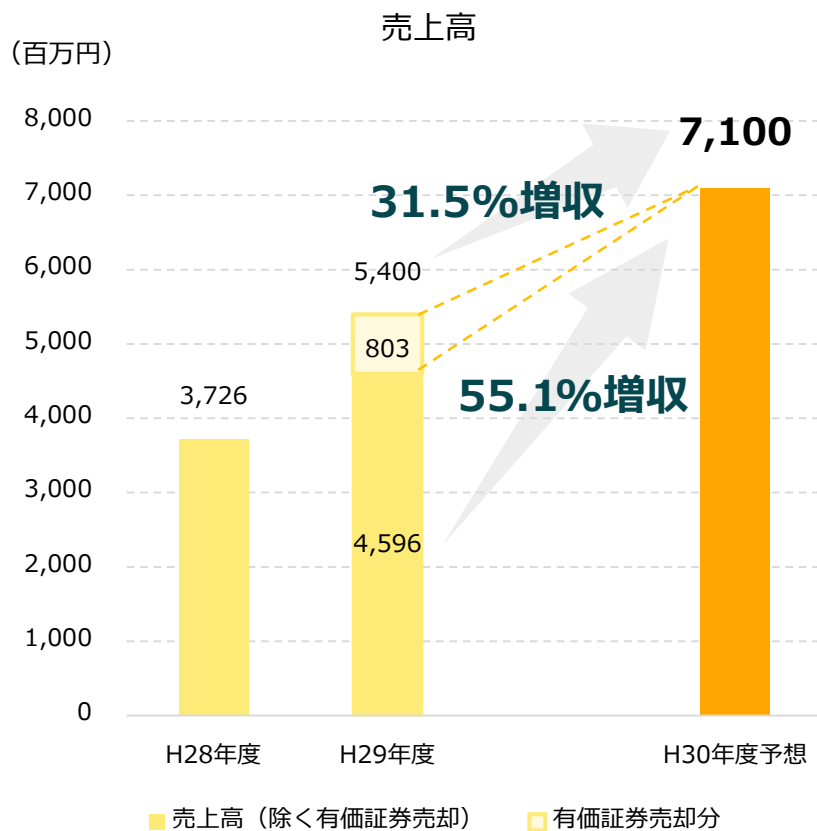


3. 平成30年12月期 業績予想

(単位：百万円)	平成29年12月期	平成30年12月期計画		
			前年同期比	増減額
売上高	5,400 (100.0%)	7,100 (100.0%)	+31.5%	+1,700
営業利益	955 (17.7%)	480 (6.8%)	-49.8%	-476
経常利益	960 (17.8%)	470 (6.6%)	-51.0%	-490
当期純利益	650 (12.0%)	300 (4.2%)	-53.9%	-350

- ポイントメディアのサステイナブルな成長とともに、ここ数年積極投資を続けているコンテンツメディアの収益拡大を図り、売上高で31.5%の増収を目指す
- マーキュリーにて仮想通貨取引所開設に向け、セキュリティを含むシステム投資・管理体制の充実等への積極投資を行い営業利益では49.8%の減益を予想
- 平成29年度の有価証券売却の影響を除いたベースでは、売上高55.1%の増収、営業利益195.7%の増益を見込む

平成30年12月期業績予想は
売上高・営業利益で増収・大幅減益に
 有価証券売却の影響を除くと
売上高・営業利益共に大幅増収・大幅増益を予想

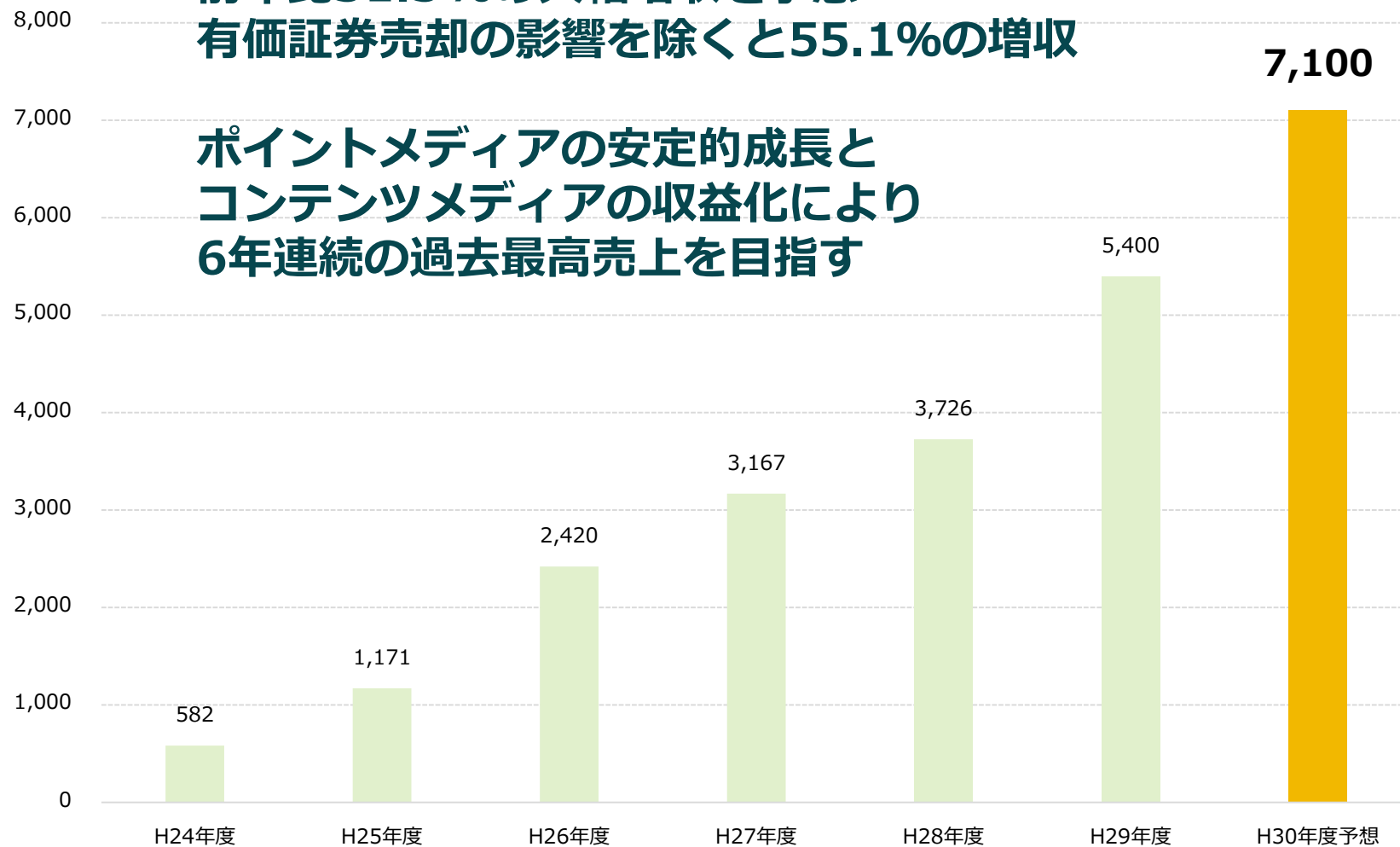




★平成30年度売上高予想は
前年比31.5%の大幅増収を予想
有価証券売却の影響を除くと55.1%の増収

ポイントメディアの安定的成長と
コンテンツメディアの収益化により
6年連続の過去最高売上を目指す

(百万円)



★平成30年度営業利益予想は
前年比49.8%の減益を予想
有価証券売却の影響を除くと195.7%の増益

★積極的に先行投資を実施予定

コンテンツメディアへの継続投資

仮想通貨取引所・マイニングへ投資

(百万円)

1,150

950

750

550

350

150

-50

H24年度

H25年度

H26年度

H27年度

H28年度

H29年度

H30年度予想

-4

156

329

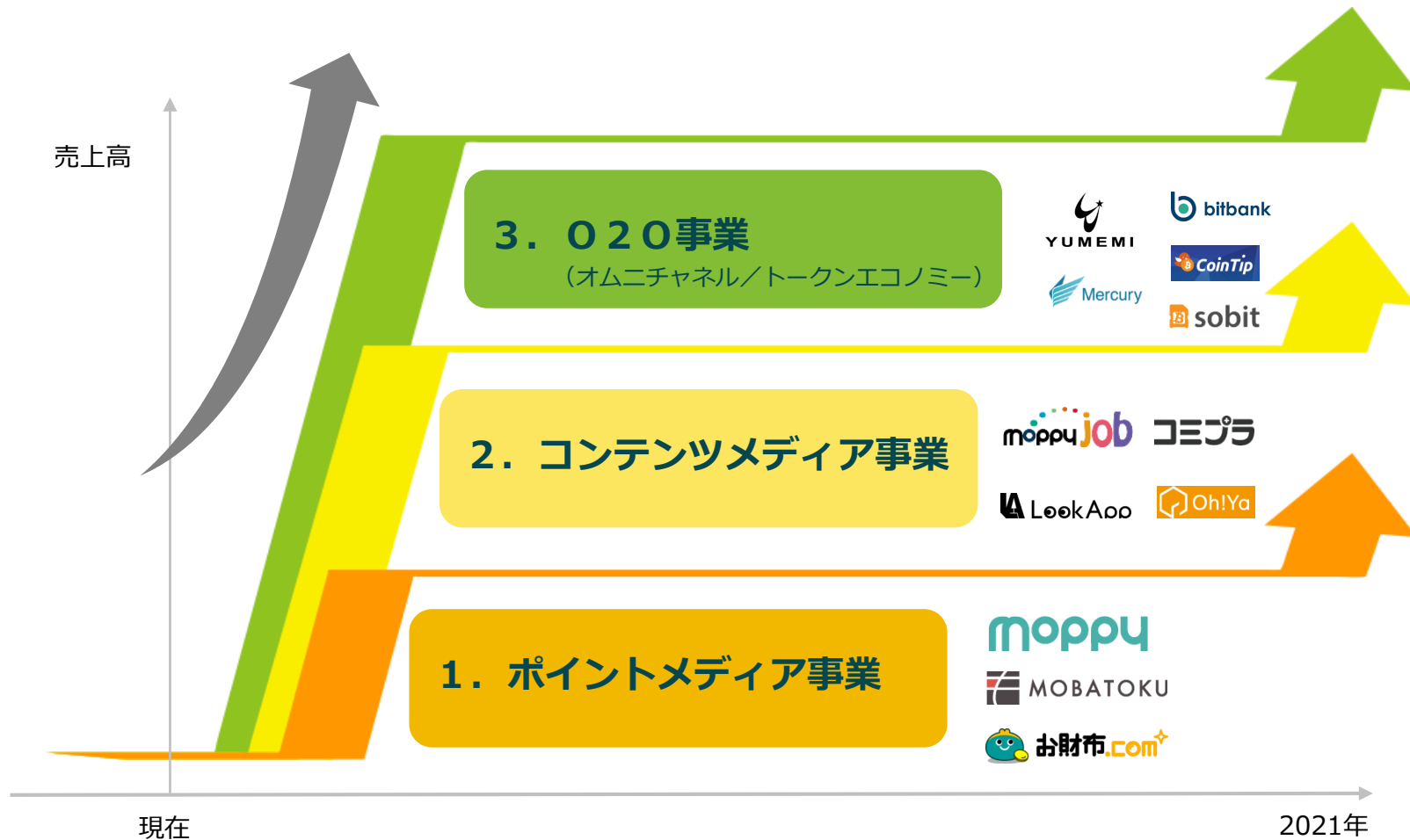
465

557

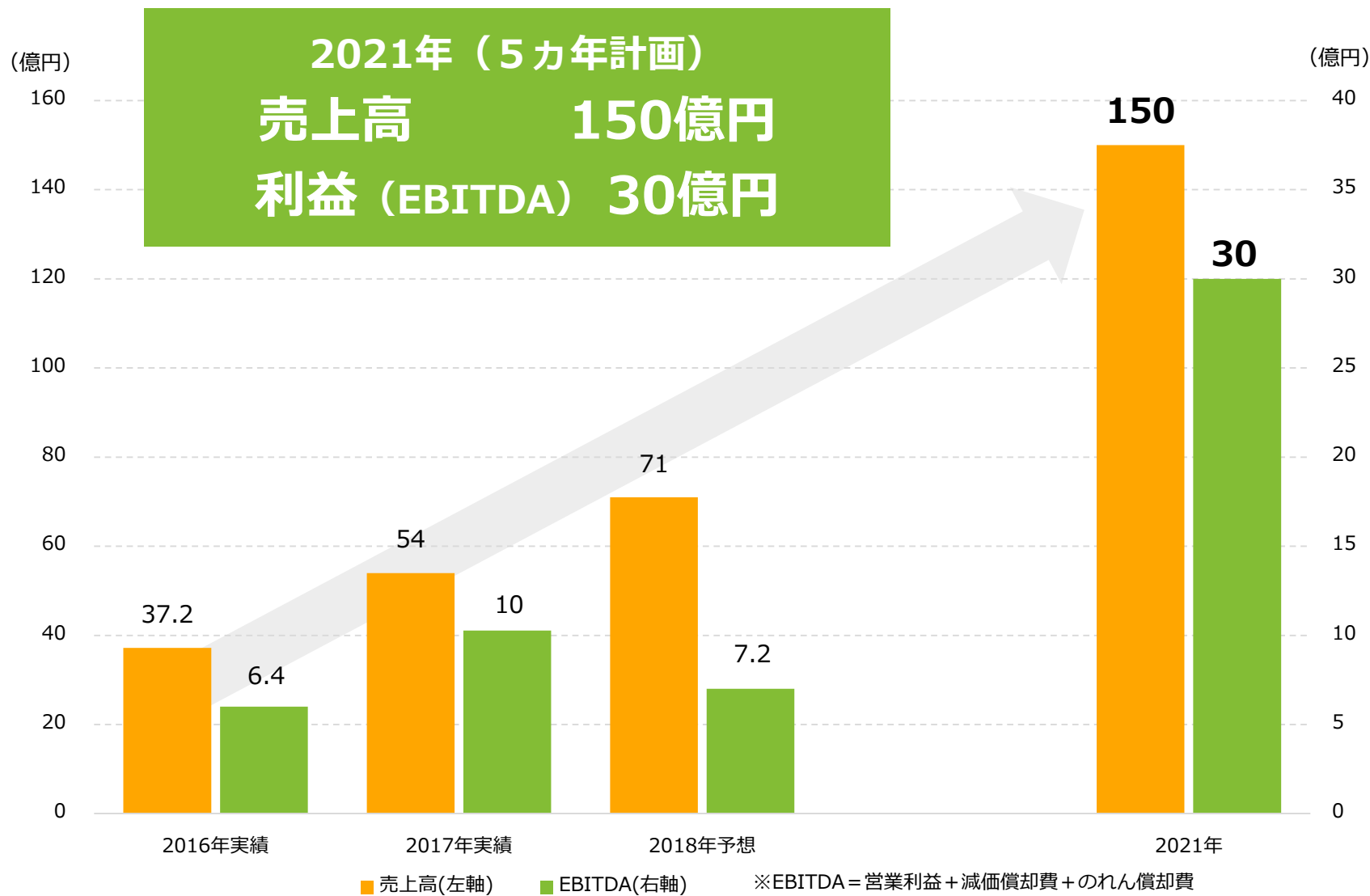
950

480

「ポイントメディア+a」へ投資を拡大し中長期成長を果たす



中期経営計画（5カ年計画）



売上高 150億円
利益 (EBITDA) 30億円

ポイントメディア事業

売上高 100億円
EBITDA 20億円



コンテンツメディア事業

売上高 30億円
EBITDA 6億円

O2O事業

売上高 20億円
EBITDA 4億円

※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費



4 . APPENDIX

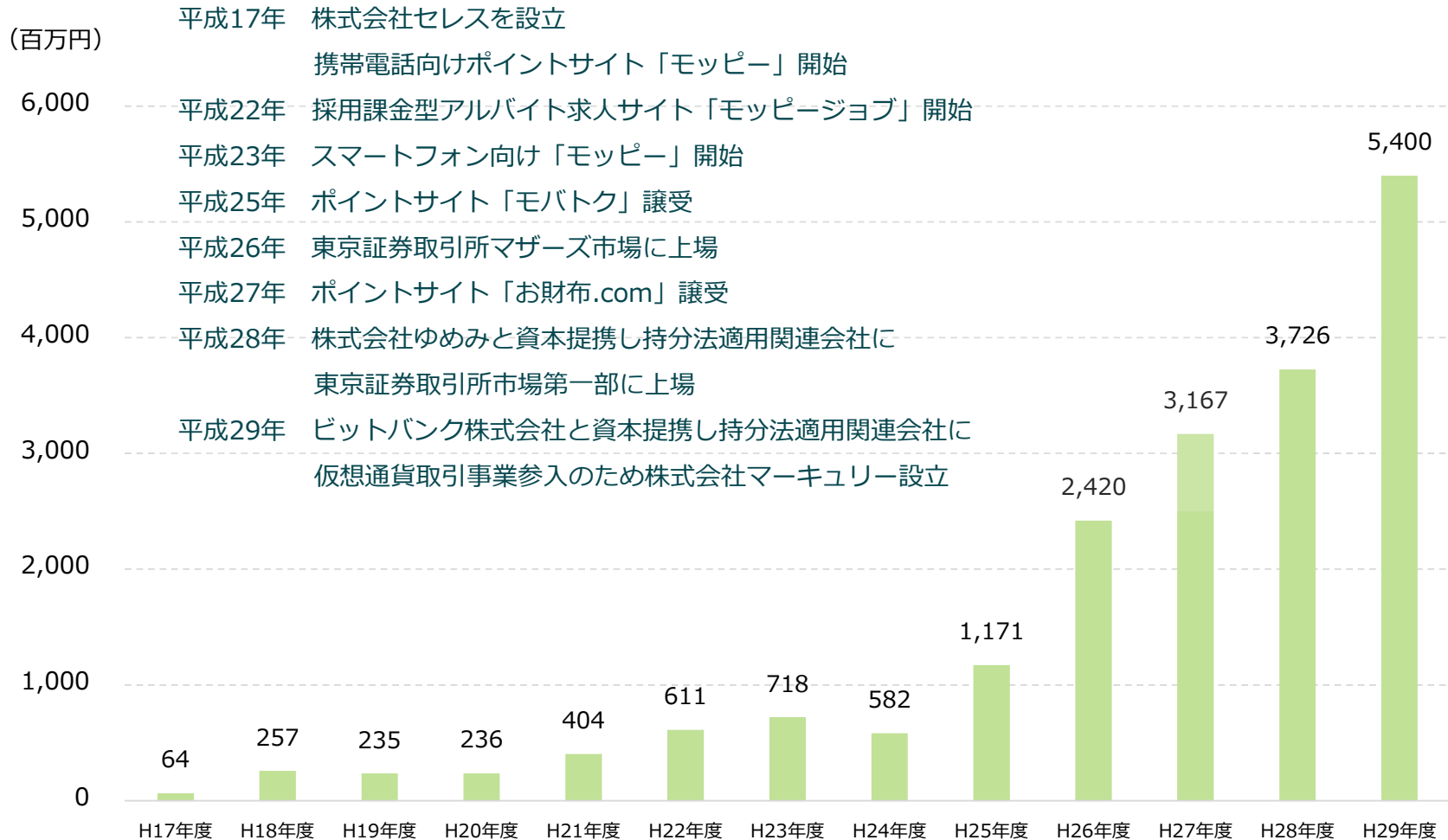
インターネットマーケティングを通じて 豊かな世界を実現する

セレスは、社会インフラとなったインターネットを通して、様々なマーケティングサービスを提供することにより、豊かな社会生活の実現をはかります。






CERESとはギリシャ神話の「大地の女神」、「五穀豊穰の神」。
CERESはローマ名で、ギリシャ名はDemeter（デメテル）。

会社名	株式会社セレス
設立年月日	平成17年1月28日
所在地	東京都世田谷区用賀四丁目10番1号 世田谷ビジネススクエア タワー24F
決算	12月
資本金	17億4,947万円 (平成29年12月末現在)
代表者	代表取締役社長 都木 聡
役職員数	107名 (平成29年12月末/臨時雇用者含む)
事業内容	モバイルメディア事業 ・ ポイントメディア事業「モッピー」「モバトク」「お財布.com」 ・ コンテンツメディア事業「モッピージョブ」「コミプラ」「LookApp」等 フィナンシャルサービス事業 ・ 仮想通貨関連事業 ・ スマートフォン決済事業 ・ 投資育成事業
子会社	株式会社マーキュリー

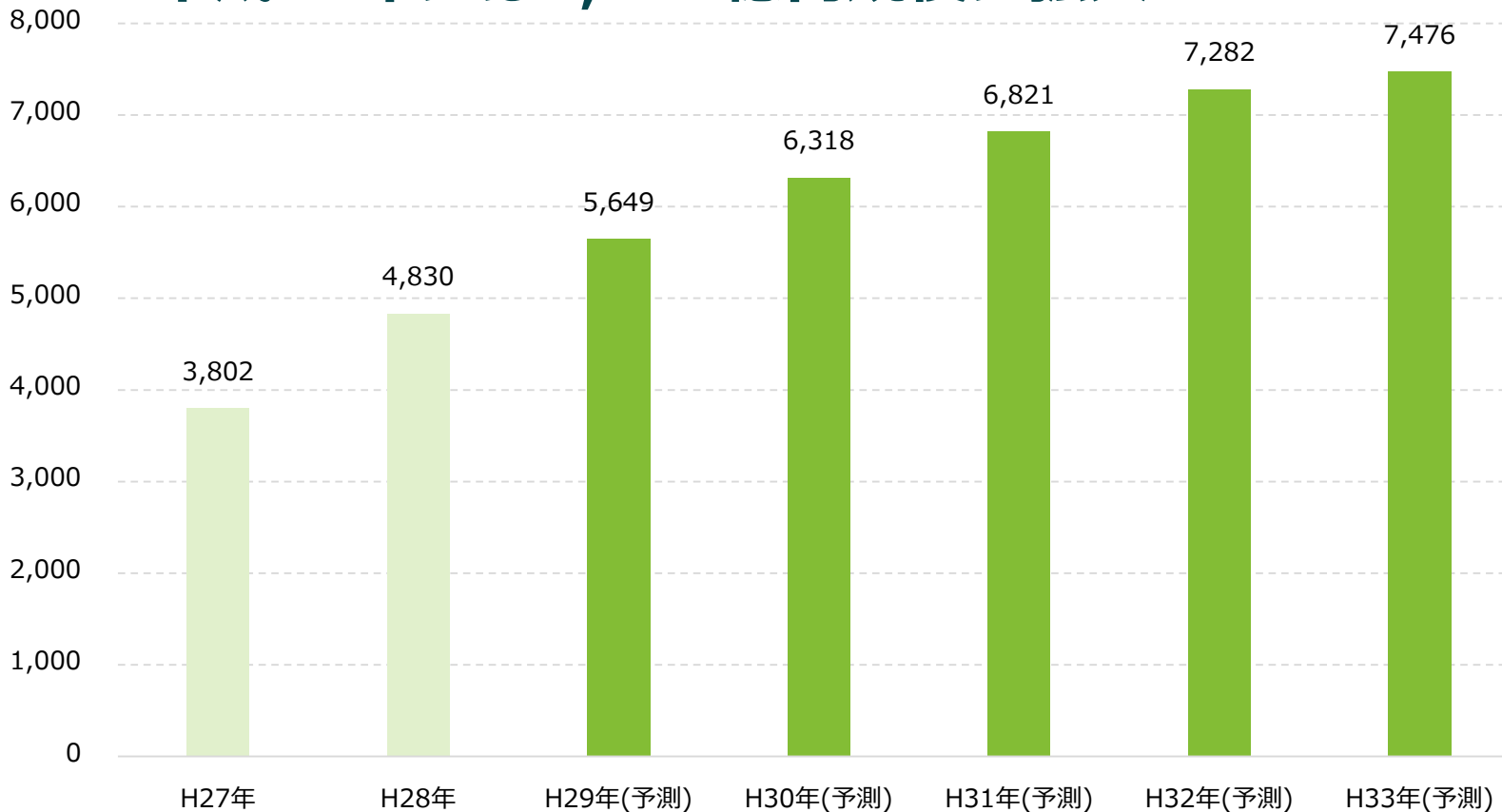


「モバイルサービス」と「フィナンシャルサービス」の2セグメントより構成

	モバイルサービス事業	フィナンシャルサービス事業
ポイントメディア	  	
コンテンツメディア	   	
O2O		   
その他事業		投資育成事業

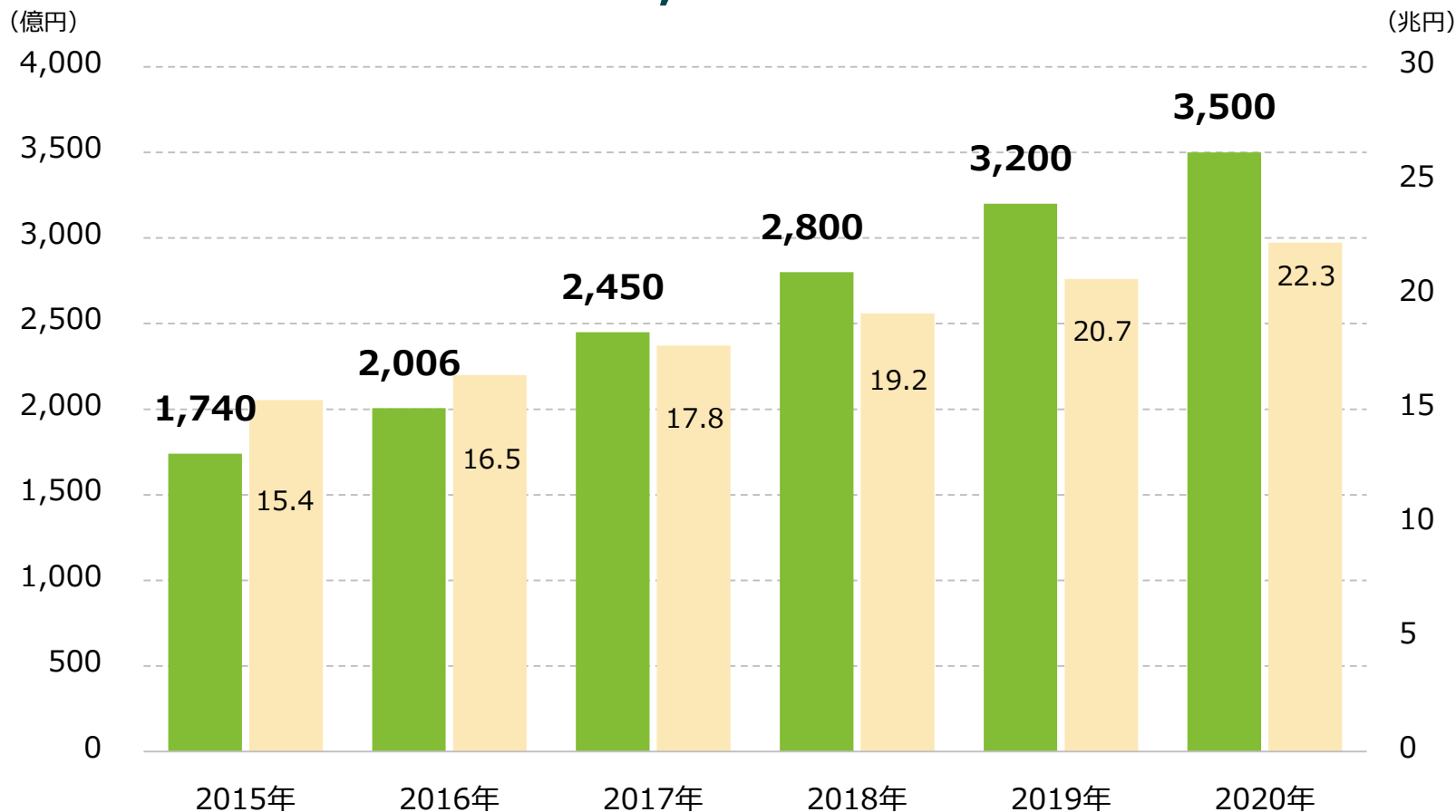
★スマートフォン広告市場は 平成33年には7,500億円規模に拡大

(億円)



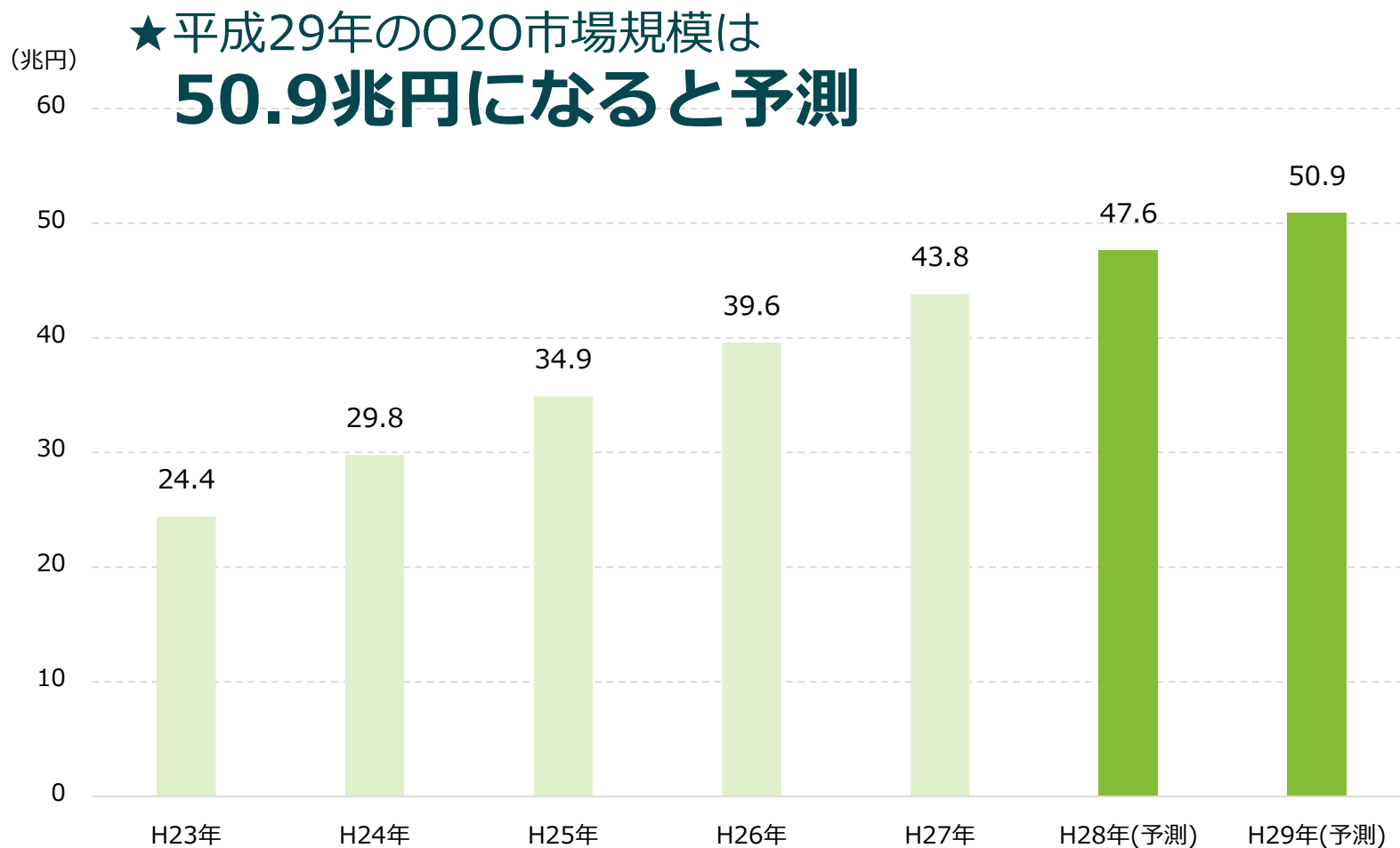
※ 野村総合研究所調べ

★アフィリエイト市場は EC市場拡大に伴い3,500億円規模に拡大



■ アフィリエイト市場規模(左軸) ※ 矢野経済研究所調べ

■ B2C向けEC市場規模(右軸) ※ 野村総合研究所調べ



※ 野村総合研究所調べ



将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。